

12年レコード生産 倍増42万枚

音の熟田 田がえるよみがえる

好みのレコードを探る人たち―東京都千代田区で

昭和の時代、クラシックから演歌まで音楽を楽しむための主役だったレコードが、再び脚光を浴びている。二〇二二年の生産枚数は十一月までに四十二万枚と、前年の二倍を超えた。ジャズやロックの名盤がレコードで相次いで復刻され、CDやインターネット配信にはない臨場感がファンに受けられている。レコードは過去の遺物ではなく、今も生産が続いている。

(神野光伸)

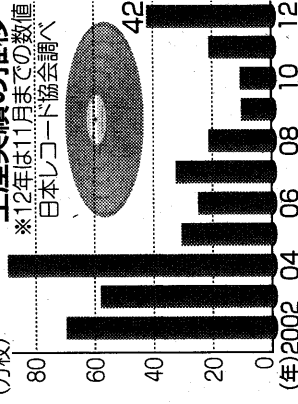
■音 質

東京都千代田区にある、レコード店「テイスクエニオン」のジャズ専門店。千葉県市原市の男性会社員(五十)は「目の前でバンドが演奏しているよ」とレコードをいじりながら見つけていた。

店内の壁には高価な中古レコードが並ぶ。その一角には、マイルス・デイビスら往年のジャズ演奏者の目

新しいジャケットが飾られていた。テイスクエニオンとEMIミュージック・ジャパンが共同で企画したジャズの復刻版だ。音質にこだわり、オリジナル版に限りなく近い。男性会社員は「復刻版もぜひ欲しい」と話していた。

日本レコード協会によると、レコードはピーク時の一九七〇年代後半に約二億枚を生産したが、八年にCDが登場し、市場から



気に消えた。そのCDも音楽のネット配信に押され、一年の生産枚数は一億九千六百万枚とピーク時の九年の四億五千七百万枚から急減している。

■ぬくもり

窮地に陥っていたレコードで音楽を楽しんだ人たちは、現在主流のデジタル音に「味気なさを感じていた」(テイスクエニオン)



レコード 樹脂などでできた円盤型のアナログの録音メディア。円盤をプレーヤーで回し、表面の溝に記録された音声情報を針で読み取って再生する。回転数や大きさの違いで「LP」や「EP」に区別される。デジタル録音のCDより録音できる音域が広く、音に深みがあると言われる。ただ劣化やほりりによる雑音が入ることが多い。

名盤を高音質で復刻 人気

・ジャズ統括責任者の増耕記さん。

レコードは音のぬくもりだけでなく、ジャケットのデザインも凝っており、「コレクション性も受けられているのではないか」(増耕さん)。

レコード人気を引っ張るのが、世界的に人気を集める海外のジャズバンドやロックバンドが発表した名盤の復刻版だ。一年に発売されたジャズの復刻版は、五十タイトル近い名盤を限定生産。昨年は、デビュー五十周年の「ビートルズ」や「サ・ローリング・ストーンズ」など、英国のロックバンドのレコードも次々と復刻された。

■団塊世代

復刻レコードはCDより高く一枚五千円を超えるが、かつてレコードに親しみ、現在は経済的に余裕ができた団塊世代を中心に受けられている。昨年一〜十一月の売上額は前年同期比二倍の六億二百万円に達した。レコード人気の復活で、「デノン」や「マランツ」のブランドでレコードプレーヤーと針を販売するD&Mホールディングス(川崎市)は二年末のレコードプレーヤーの売り上げが二割増となった。「復刻版の影響が大きいのではないかとみている」。